株式会社 堀場製作所

2016年12月期 決算説明会

代表取締役会長兼社長　堀場 厚
代表取締役副社長　齊藤 壽一

2017年2月15日

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- 事業セグメント別詳細説明
- 株主還元
- 中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗

＜ 免責事項＞

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2016年の振り返り

外部環境	◆ 熊本地震発生 ◆ 排ガス・燃費問題 ◆ 円高推移（2015年比） ◆ 英国のEU離脱が決定
内部状況	◆ 2016年1月より収益認識基準を変更 （出荷日 ⇒ 据え付け・着荷日） ◆ ホリバMIRA社を買収して以降、初の通期決算 ◆ 「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」稼働 ◆ 阿蘇工場拡張投資決定 ◆ ホリバ・インド社テクニカルセンター開設 ◆ 2017年1月にフランスグループ会社再編 ◆ 2017年1月に水質計測事業をグループ会社に統合

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- 事業セグメント別詳細説明
- 株主還元
- 中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2016年12月期 決算概要

過去最高の配当実施(85円/株)、ROEは10%

P&L

- ◆売上高から経常利益まで前年比減収減益も、過去最高の昨年に続く高水準
- ◆一時的な税率低下で純利益は過去最高※
- ◆円高の影響は、売上高▲142億円、営業利益▲31億円

B/S

- ◆総資産は、円高影響等により、▲75億円の2,396億円
- ◆自己資本比率は55.4%

CF

- ◆利益計上などで営業CF:＋158億円
- ◆設備投資などにより投資CF:▲104億円

} フリーCF:+54億円

- ◆長期借入収入で増加も、増配等により、財務CF:▲4億円

※2016年度決算からの収益認識基準の変更により、2015年度業績を新基準で再集計した場合は2015年度が過去最高。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2016年12月期 通期業績

（単位：億円）

	2015年	2016年			
	実績（新基準※）	前回予想（2016年11月時点）	実績	vs.2015年	vs. 前回予想
売上高	1,719	1,700	1,700	▲1.1%	+0.1%
営業利益	201	175	184	▲8.2%	+5.7%
営業利益率	11.7%	10.3%	10.9%	▲0.8p	+0.6p
経常利益	196	170	182	▲6.9%	+7.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	132	108	129	▲2.4%	+20.0%
一株利益（円）	315	256	308	▲2.4%	+20.0%
ROE	10.7%	8.5%	10.0%	▲0.7p	+1.5p

※新基準…2016年度決算からの収益認識基準の変更により、2015年度業績を新基準で再集計した場合の参考値を掲載しています。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2016年12月期 通期業績(セグメント別)

(単位:億円)

★:過去最高	売上高				営業利益			
	2015年 実績 (新基準※)	2016年 前回予想 (2016年11月時点)	2016年 実績	vs. 2015年	2015年 実績 (新基準※)	2016年 前回予想 (2016年11月時点)	2016年 実績	vs. 2015年
自動車	654	640	622	▲4.9%	52	35	35	▲32.1%
環境	167	165	167	+0.3%	17	15	15	▲12.3%
医用	276	265	265	▲4.0%	25	27	28	+9.7%
半導体	353	370	★ 388	+9.8%	94	90	★ 96	+2.6%
科学	267	260	257	▲3.8%	11	8	9	▲21.1%
合計	1,719	1,700	1,700	▲1.1%	201	175	184	▲8.2%

※新基準…2016年度決算からの収益認識基準の変更により、2015年度業績を新基準で再集計した場合の参考値を掲載しています。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- 事業セグメント別詳細説明
- 株主還元
- 中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年市場環境の想定

自動車	☀	・国内外の自動車メーカーによる研究開発投資は堅調と予想 ・欧州/日本での排ガス規制強化の動向注視
環境	☁	・日本を含むアジア市場での煙道排ガス分析装置や水質計測機器の需要増加に期待
医用	☁	・日本での開業医向けの小型製品需要動向注視 ・米国医療制度変更影響
半導体	☀	・年前半は3D-NAND等メモリ投資が活況と予想 ・年後半の半導体メーカーの設備投資需要は不透明
科学	☀☁	・日本:民間企業の設備投資/研究開発費増加に期待 ・海外:欧米の政府予算関連の動向注視

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年想定為替レート

（単位:円）

	2015年	2016年	2017年	
	実績	実績	予想	前年比
USドル	121.10	108.78	110	+1.22
ユーロ	134.31	120.26	120	▲ 0.26
ポンド	185.19	147.57	130	▲ 17.57

為替感応度の想定

（2017年予想における1円円安の営業利益影響額）

USドル　+1億5,500万円

ユーロ　+2,300万円

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年12月期 通期業績予想

（単位：億円）

★：過去最高	2015年 実績（新基準※）	2016年 実績	2017年 予想	2017年 前年比
売上高	1,719	1,700	★ 1,770	+4.1%
営業利益	201	184	200	+8.1%
営業利益率	11.7%	10.9%	11.3%	+0.4p
経常利益	196	182	193	+5.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	132	129	130	+0.3%
一株利益（円）	315	308	309	+0.3%
ROE	10.7%	10.0%	9.5%	▲0.5p

※新基準…2016年度決算からの収益認識基準の変更により、2015年度業績を新基準で再集計した場合の参考値を掲載しています。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

★: 過去最高

	売上高			営業利益		
	2016年	2017年	前年比	2016年	2017年	前年比
自動車	622	★ 670	+7.7%	35	52	+47.3%
環境	167	★ 180	+7.4%	15	16	+3.9%
医用	265	250	▲5.9%	28	22	▲21.6%
半導体	388	★ 410	+5.6%	96	★ 100	+3.3%
科学	257	260	+1.0%	9	10	+5.8%
合計	1,700	★ 1,770	+4.1%	184	200	+8.1%

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- **事業セグメント別詳細説明**
- 株主還元
- 中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

次のスライドへ

自動車 2016年実績/2017年予想

（単位：億円）

2016年実績

- ＋ [排ガス] 日本堅調、車載測定器も増加
- － [MCT] 需要一時減少で低調
- － [ECT] 通年売上計上、のれん等償却4億円

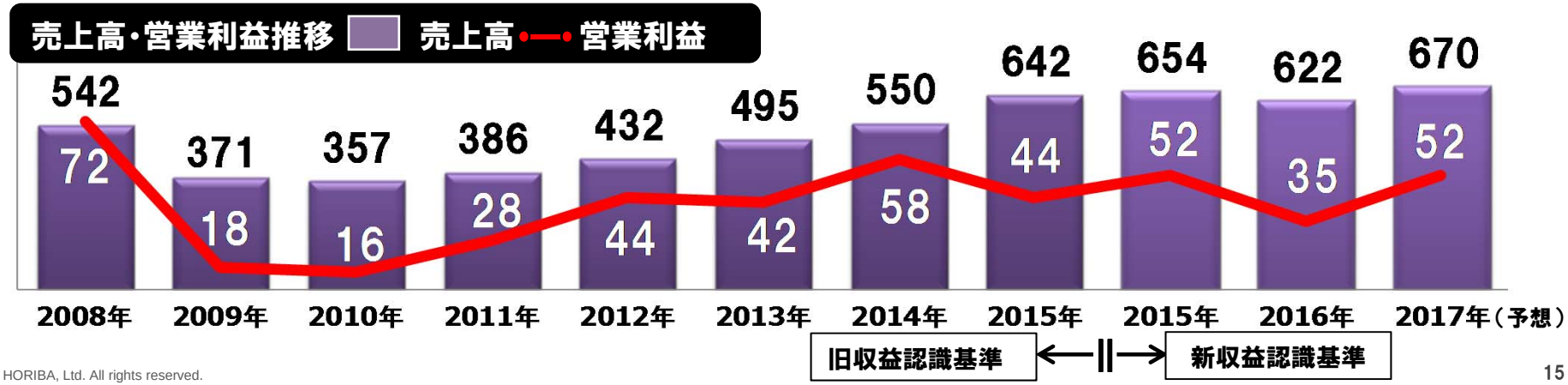
2017年予想

- ＋ [排ガス] 日本堅調維持、アジア回復
- ＋ [MCT] 大幅回復予想、収益性向上
- ＋－ [ECT] 引き合い堅調、ポンド安で目減り

2016年自動車産業におけるトピックス

- 自動運転時代の本格的な到来
  - AI活用
- 自動車の電動化加速
  - 開発投資の電動化シフト
- 燃費開示不正事件
  - VWに続き日本でも発生
- 排ガス規制強化（WLTP、RDE）
  - 室内試験も路上試験も共に強化
- 英国のEU離脱

※ECT…買収したホリバMIRA社の事業（Engineering Consultancy & Testing）
WLTP、RDE…スライド17で詳細説明



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車 収益性向上への道筋 - HORIBA BIWAKO E-HARBOR - MCT

リードタイム 1/3の実現をめざして

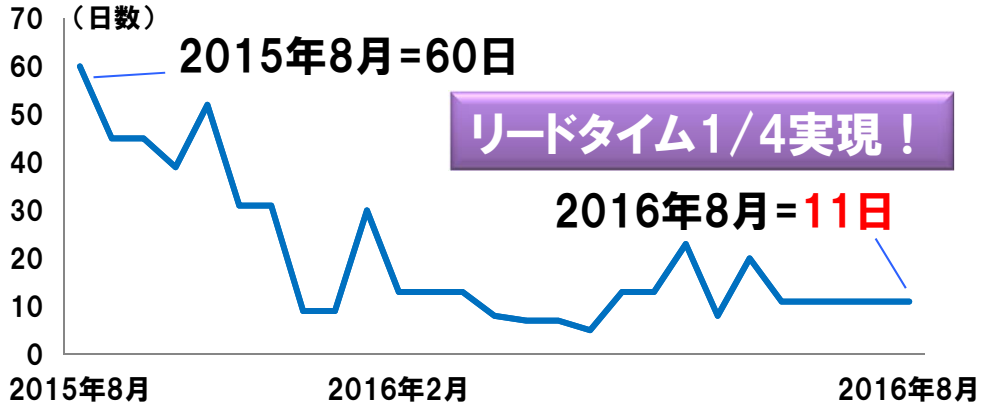
仕様決定から設計完了までのリードタイム削減

～排ガス測定装置 中型MEXAシリーズでの事例～

【課題】設計待ち

【対策】仕様の定型化による「設計レス」を実現

<仕様書確定から設計完了までのリードタイム推移>



MCTビジネスでの収益性向上

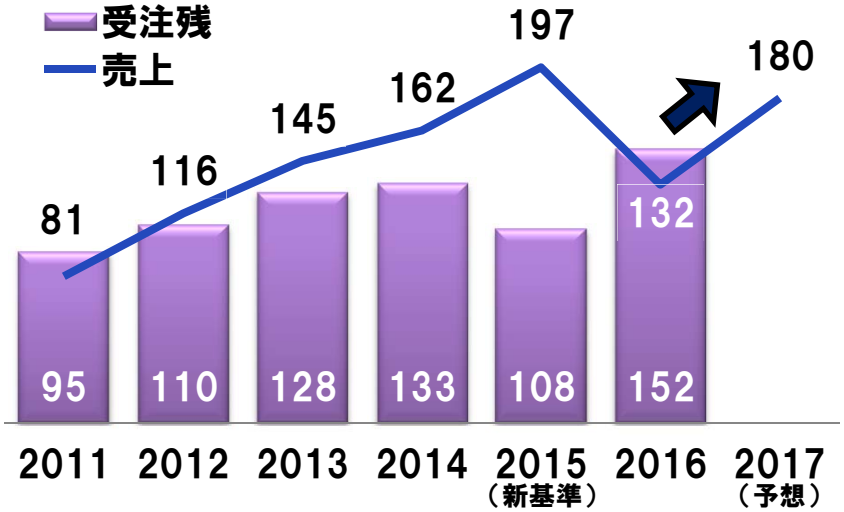
2017年には大幅回復を予想

- 自動車メーカーの設備投資回復
- ターンキービジネス拡大による受注確保（日本、欧州、アメリカ）

収益性の向上に注力

- プロジェクト進捗管理の徹底

<MCT売上高・受注残（単位:億円）>



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車 排ガス関連規制動向 / 新興市場での施策

規制動向

日本での販売堅調(自動車メーカー、部品メーカー)

➡ 国内設備投資は堅調に推移

WLTP※(国連提唱の世界統一排ガス試験法)

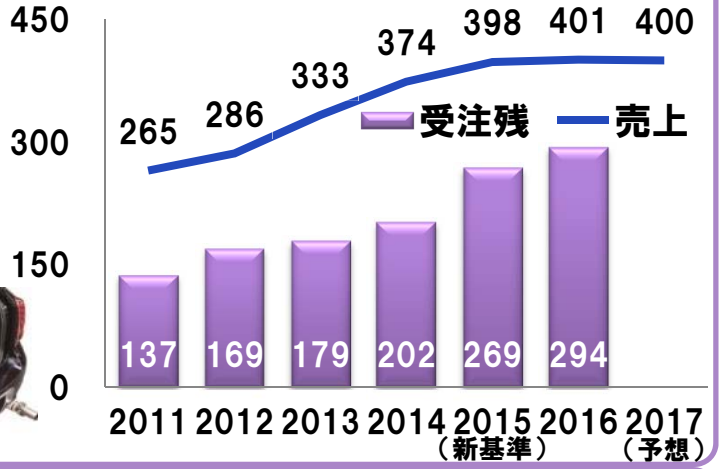
➡ EUは2017年9月、日本は2018年10月に導入

RDE規制(路上試験:Real Driving Emission)

➡ WLTPと同じく2017年9月EUで開始

※WLTP…Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure

<排ガス売上高・受注残(単位:億円)>



ホリバ・インド社テクニカルセンター開設

竣工 :2016年11月30日

場所 :インド西部プネ(自動車産業中心地)

機能 :自動車計測の室内試験
製品カスタマイズ/トレーニング

狙い :計測デモンストレーション強化
アプリケーション開発強化

ホリバ・インド社テクニカルセンター外観

HORIBA BIWAKO E-HARBOR「E-LAB 集中管理室」

オープニングセレモニーに
平松賢司
駐インド日本国特命全権大使
Devendra Fadnavis
マハラシュトラ州首相
を招待

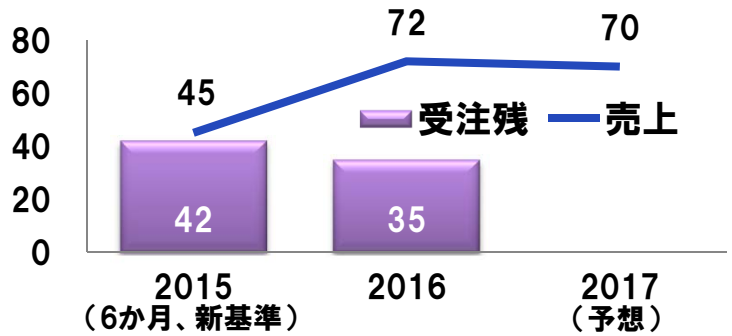
© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車 ECT(ホリバMIRA)ビジネス

ECTビジネス(Engineering/ホリバMIRA社)

- ポンド安の影響で円換算で売上高減少
- 英国EU離脱影響:今後の動向注視し投資実施
  - ➡ 2016年:30億円、2017年:30億円予想
- MIRA Technology Parkでの引き合いは増加
- グローバル展開の加速(アジア/日本市場)

<ECT売上高・受注残(単位:億円)>



	2015	2016	2017
ポンドレート	185円	147円	130円

英国自動運転プロジェクトへの参画

ジャガー・ランドローバー社の実験に共同参画
自動運転技術の実証実験フェーズに貢献

UKAutodrive

http://www.ukautodrive.com/the-uk-autodrive-project/

ジャガー・ランドローバーは、HORIBA MIRA社で実施されたUK Autodriveのデモンストレーション
て、最新のコネクテッド自動運転車両(CAV:Connected and Autonomous Vehicle)技術を披露し

G7交通大臣会合 in 軽井沢(2016年9月開催)

HORIBA MIRA社CEOのGeorge Gillespieが英国代表として参加

[議題] 1. 自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及
2. 交通インフラ整備と老朽化対応への基本的戦略
➡ 主要テーマ=自動運転

主要参加国:企業
ドイツ:BMW
フランス:ルノー
日本:トヨタ
英国:HORIBA MIRA

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

環境　2016年実績/2017年予想

（単位：億円）

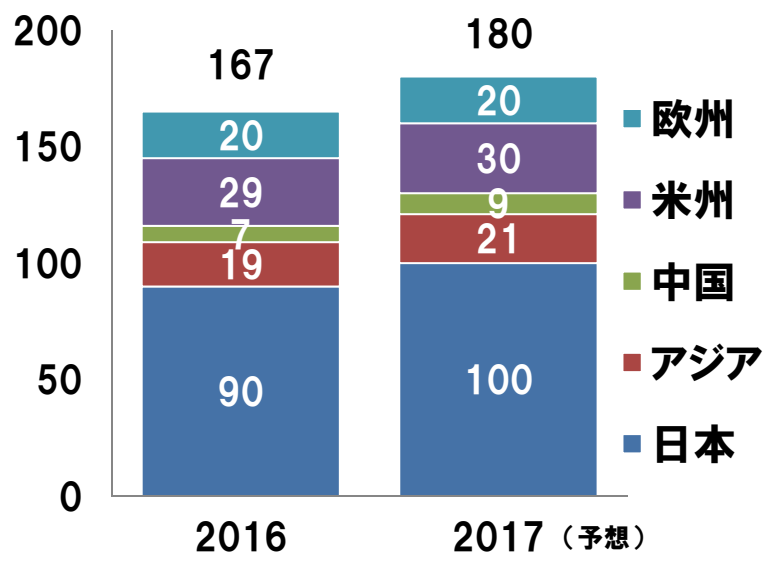
2016年実績

- ＋ 日本：煙道排ガス分析装置の販売堅調
- ＋ 北米：プロセス計測設備事業が堅調に推移
- － 欧州/アジア：低調推移

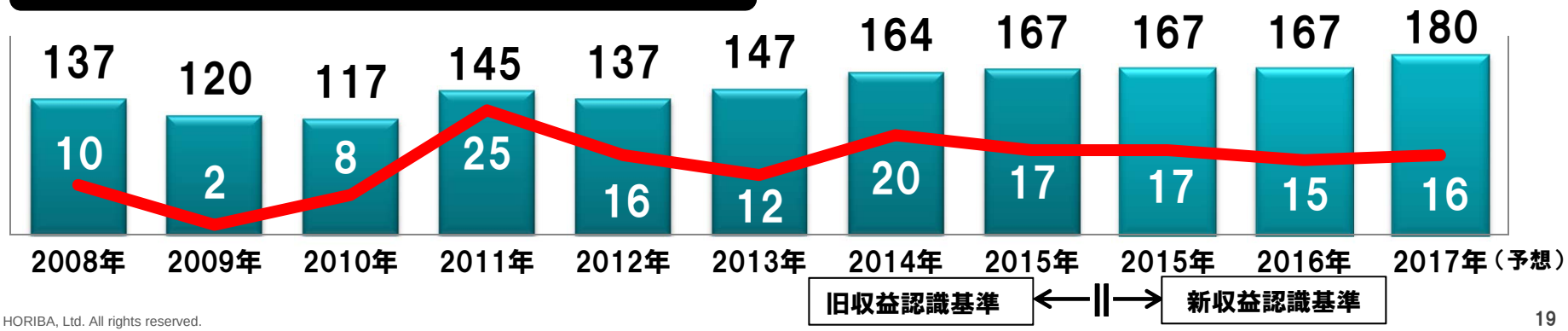
2017年予想

- ＋ 日本は堅調維持予想
- ＋ E-HARBORでのガス計測計の収益性向上
- ＋－ 水質計測関連の開発費増加

地域別売上高



売上高・営業利益推移　売上高　営業利益



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

環境　環境対策に貢献する計測技術

ガス

PMの成分をオンラインで自動分析

- HORIBAの技術を融合　科学 × 環境
- 飛来する微少粒子の発生源を特定
- 24時間連続成分分析が可能

HORIBA BIWAKO E-HARBOR
に設置のデモ施設

【PM2.5成分分析装置】

環境省が当社装置を導入計画

✓ 2017年4月より国内4か所に設置予定

水質

染色工場による水質汚濁の改善事業

- ミャンマーの排水処理設備に水質モニタリング機器を導入
- 日立造船と協働しプロジェクト開始

ワンディン市に設置した実証試験機

【水質分析装置】

環境省の「アジア水環境改善モデル事業」に採択

✓ 2017年1月より実証試験を開始

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

医用　2016年実績/2017年予想

（単位：億円）

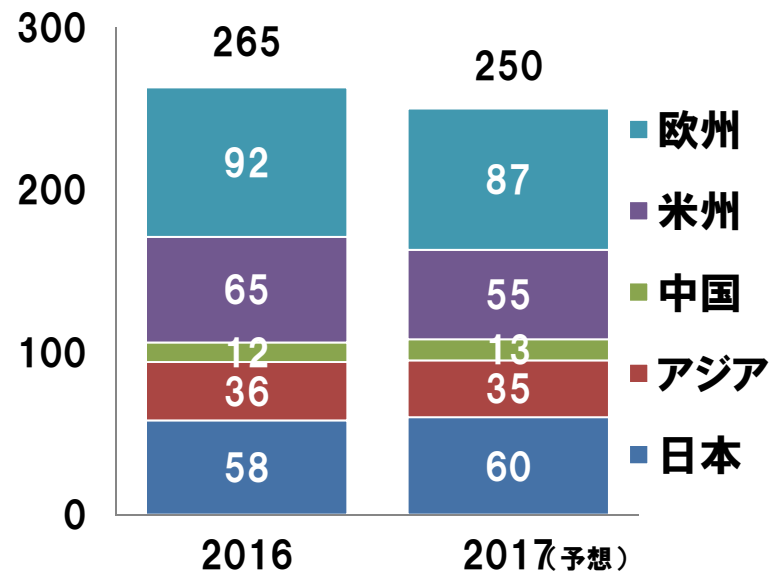
2016年実績

- ＋ 日本　血球計数CRP測定装置の販売堅調
- － 海外　欧州は円高による売上目減り
- ＋ 　　インドは着実に成長

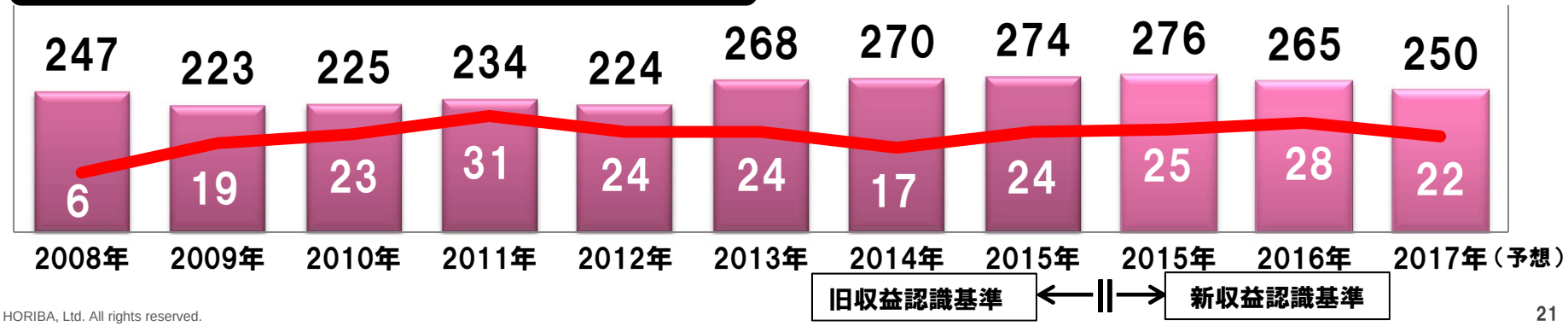
2017年予想

- ＋－ 日本　血球計数CRP測定装置堅調維持予想
- ＋ 海外　新ブランドでの拡販加速

地域別売上高



売上高・営業利益推移



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

医用　新ブランド・新サービスによる成長

新ブランド「Yumizen」

◆ 臨床検査市場でのブランド強化

Yumizen
Solutions for Laboratories

◆ 中・大型血球計数市場での拡販戦略

- ➢ データマネジメントシステム等のトータルソリューションを提案
- ➢ 2017年2Qからグローバルに本格展開

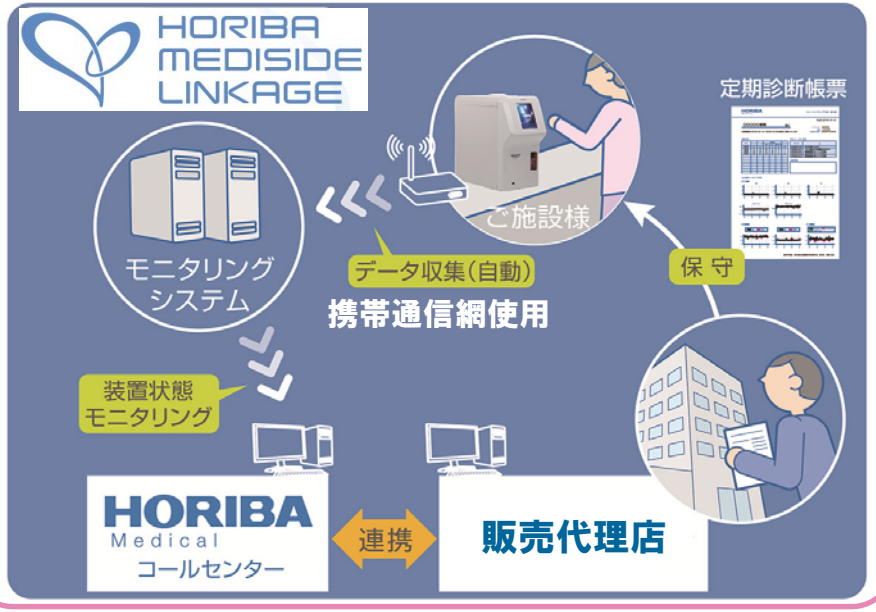
HELO
HORIBA Evolutive Laboratory Organisation

IoTによる予知（状態監視）保全を実現
新保守メンテナンスサービス提供

◆ 機器の常時モニタリングと診断レポートで保守サポートを充実

◆ 異常を事前に察知、最適な提案

◆ ターゲット：2020年に国内6,000契約
グローバル展開も視野



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

半導体 2016年実績/2017年予想

（単位：億円）

2016年実績

- ＋ 売上高・営業利益ともに過去最高更新
  - ➢ アジアでの半導体投資の増加による
- － 円高による利益の目減り

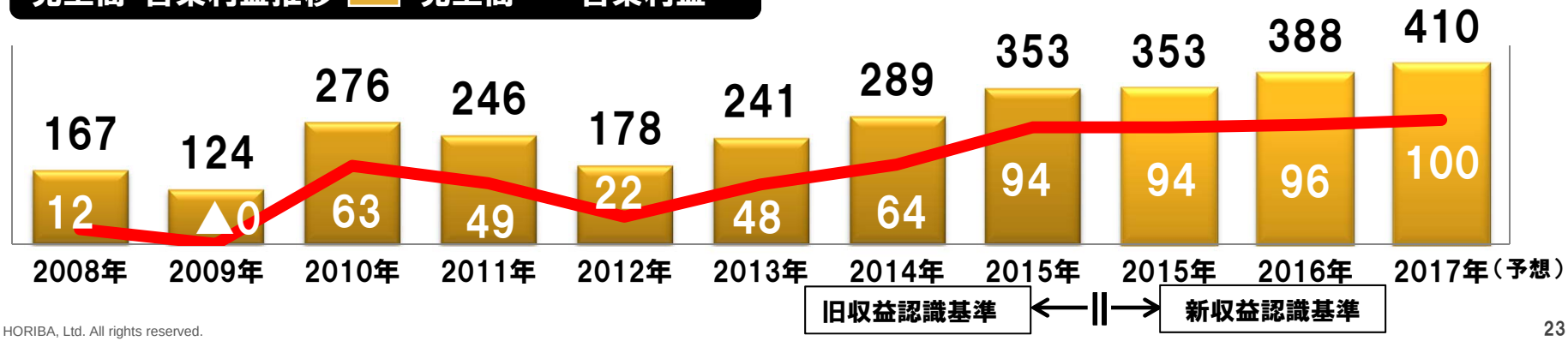
2017年予想

- ＋ 阿蘇工場投資による生産キャパシティの増加
- － 年後半の市場動向不透明
- ＋－ 中国半導体投資注視

半導体市況及びマスフローコントローラー関連市場トピックス

- ➢ データセンターのメモリー移行
  →半導体需要の大幅増加
- ➢ 半導体製造技術の変化
  微細化、3D-NAND、ダブルパターンニング
  →エッチング需要の拡大
- ➢ 半導体メーカーによる投資コントロール
  →シリコンサイクルの波の縮小
  →市場安定化へ

売上高・営業利益推移 ■ 売上高 ●— 営業利益



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

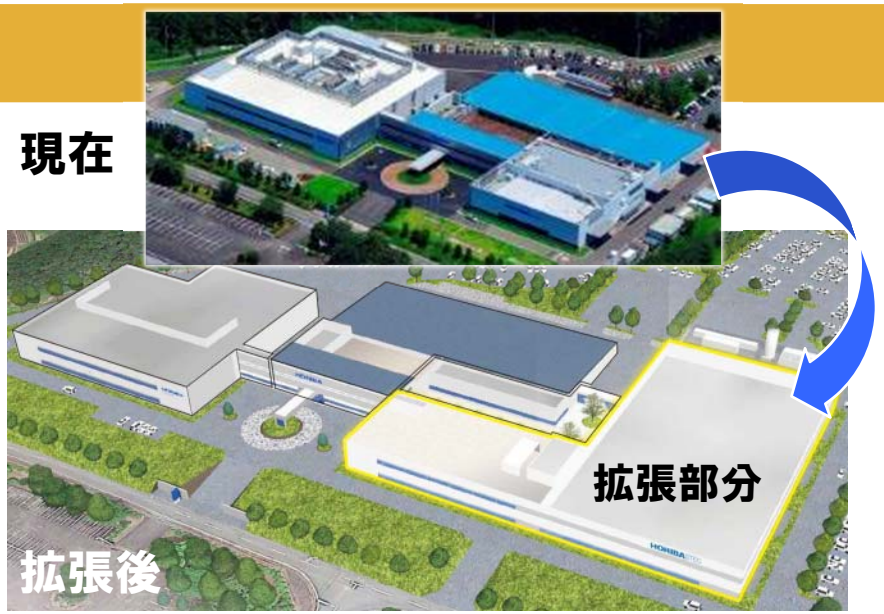
半導体 供給拡大投資決定/製品市場シェア

（単位：億円）

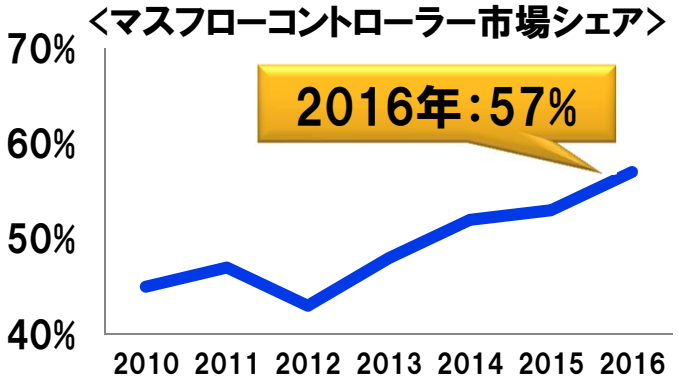
供給量拡大への投資

内容　堀場エステック阿蘇工場の増設
投資額　約27億円
完成　2017年11月（予定）
狙い　MFCの生産能力拡大
（延床面積約1.5倍）

熊本地震後、熊本県で初の
公開立地協定（増設）企業（2016年7月31日時点）



マスフローコントローラーの市場シェアと市場動向



【HORIBAの強み】

技術的視点　最先端の「差圧式センサー」搭載機の安定的な供給体制確立

供給体制　安定生産できるHORIBAのビジネスポートフォリオ

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

科学　2016年実績/2017年予想

（単位：億円）

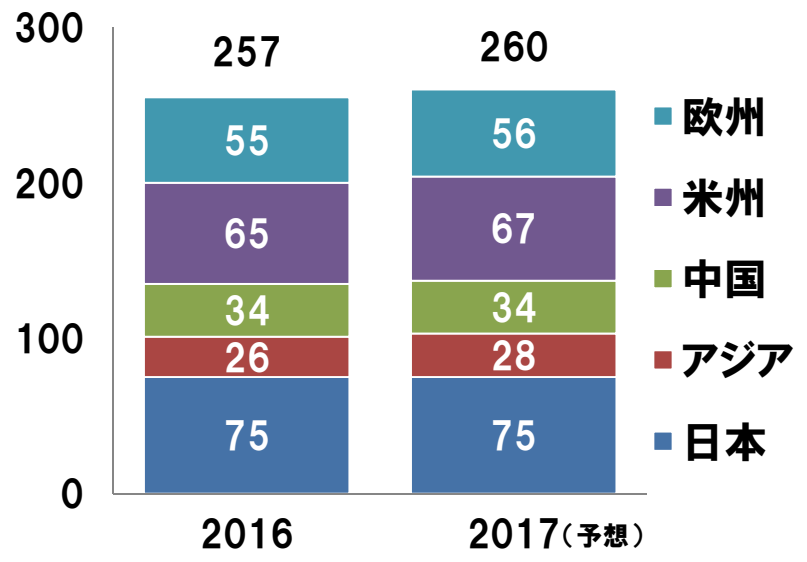
2016年実績

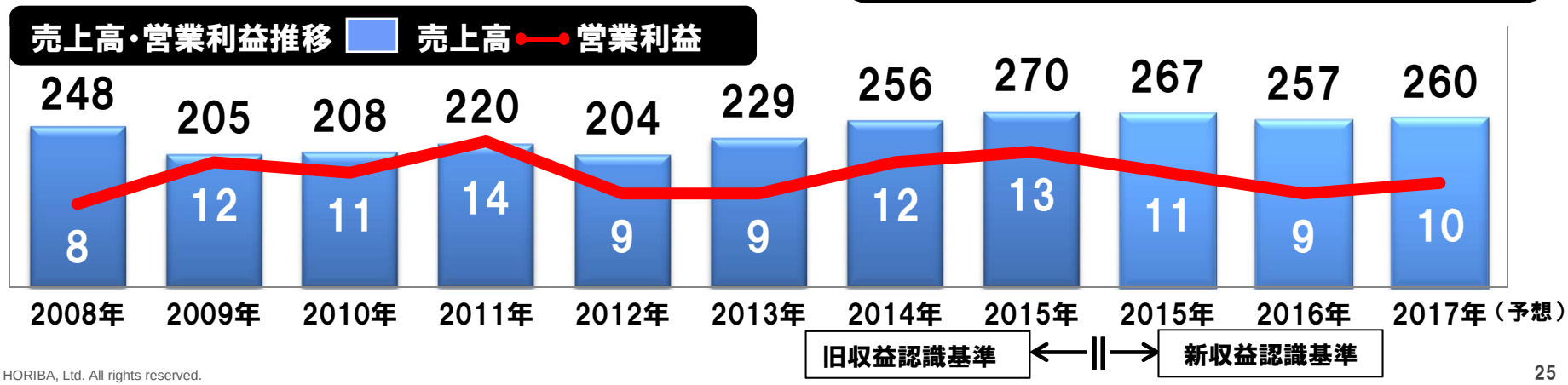
- ＋－ 日本 企業向けは堅調、大学/研究機関低調
- － 海外 全地域低調、大学/研究機関低調
- ＋ 中国向けラマン分析装置堅調

2017年予想

- ＋ 日本 民間企業向けのアプリケーション強化
- ＋－ 海外 中国経済動向を注視
- ＋ グループの技術を融合した新製品投入

地域別売上高





© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

科学　HORIBA技術を使った新市場深耕

堀場製作所とジョバンイボンの技術力、アカデミアとの連携

堀場製作所
ジョバンイボン
トプコン電子線技術

→

HORIBAグループの技術を
結集した新製品

カソードルミネッセンスイメージング装置<2016年8月発表>

◆ 欠陥イメージング画像を高精細に実現
- ➢ LED 素子の蛍光体部の特性分布解析
- ➢ 次世代型パワーデバイスの研究開発スピードアップ

カソードルミネッセンスイメージング装置:Imaging CL

『お客様の声』を反映するための商品開発・市場創造事例

貴金属メーカー

- 貴金属用分析ソフト開発
- チャンバーカスタマイズ

MESA-50T

半導体材料・ライフサイエンス分野

- 結晶欠陥評価専用機
- トプコン技術の応用
- バイオラマンの共同研究
- タンパク質・製薬評価

SEM-CL

INV-XploRA

先端素材開発

- 高濃度セル
- 微量測定

LA-960

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- 事業セグメント別詳細説明
- **株主還元**
- 中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗

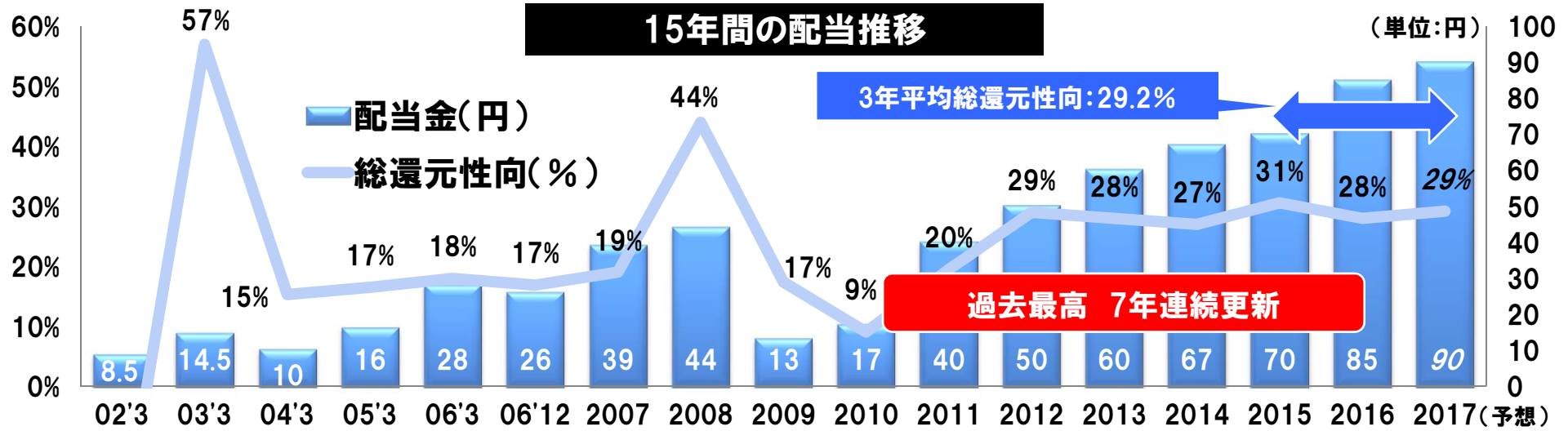
© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

株主還元

配当金及び自己株式の取得

- 2015年実績 70円［中間28円、期末42円］→＋
- 2016年実績 85円［中間30円、期末55円］
- 2017年予想 90円［中間40円、期末50円］

自己株式の取得実施（2015年）
- 取得株数21.8万株
  （発行済み株式数の0.5％）
- 取得金額9.9億円



基本的な考え方（2013年度以降）

- 配当金＋自社株取得 ＝ 連結純利益×30％ を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&A等）

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2016年12月期 決算概要
- 2017年12月期 業績予想
- 事業セグメント別詳細説明
- 株主還元
- **中長期経営計画「MLMAP2020」の進捗**

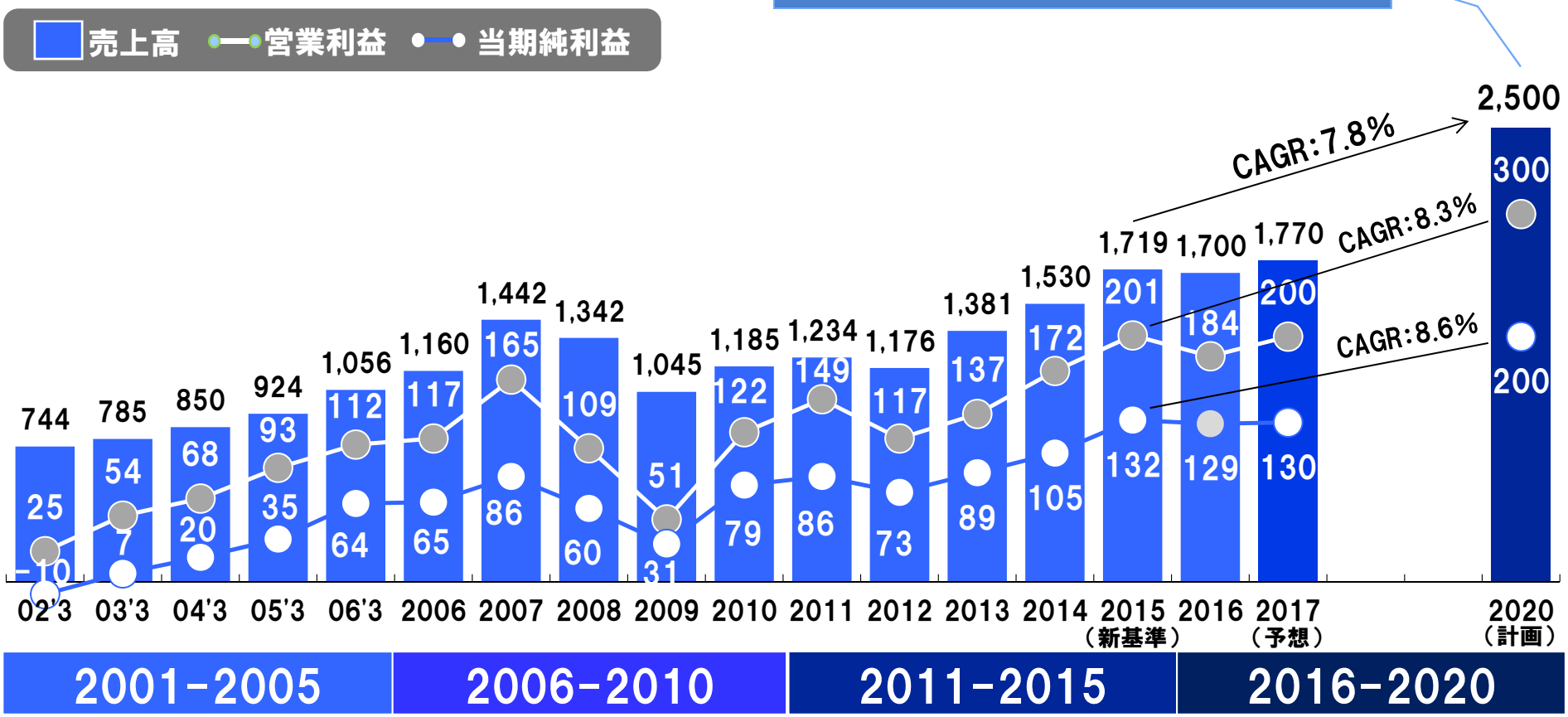
© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

20年間の業績推移・目標

（単位：億円）

売上高・営業利益・純利益の全てにおいて、継続的な成長

2010年からの10年で2倍に成長



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

中長期経営計画「MLMAP2020」の方針

MLMAP2020 “ONE STEP AHEAD”

- HORIBA Technologyを新分野・新市場に展開
  分析・計測の真のパートナーへ
- バランス/マトリックス/ステンドグラスをステップに、
  “Super Dream Team”
- 資産効率の向上と企業価値の最大化

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

MLMAP2020目標達成に向けたアクション

1. 水質計測分野での成長加速を実現する組織改編
2. ステンドグラスプロジェクトの活動
3. 資産効率の向上と企業価値の最大化
   - 資産効率を測る独自の経営指標
   - 金融子会社の設立

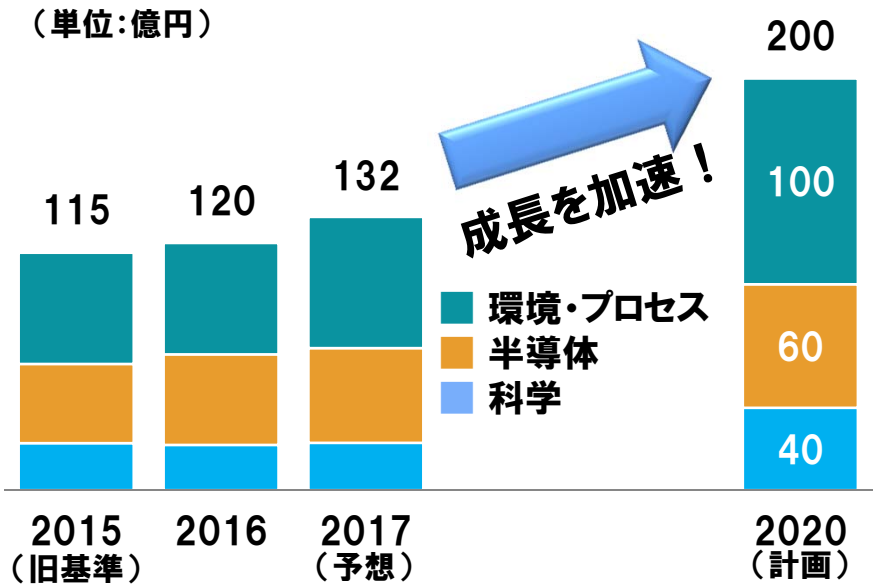
© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

Water 水質計測分野での成長加速

株式会社堀場アドバンスドテクノ（京都）に「水」計測リソース集約

HORIBAグループ各社と3事業（科学/環境・プロセス/半導体）が保有する製品・技術を開発/生産/営業、全ての断面で統合
➡ HORIBA独自の価値の創出

水質計測分野での売上高を2倍に
100億円→200億円

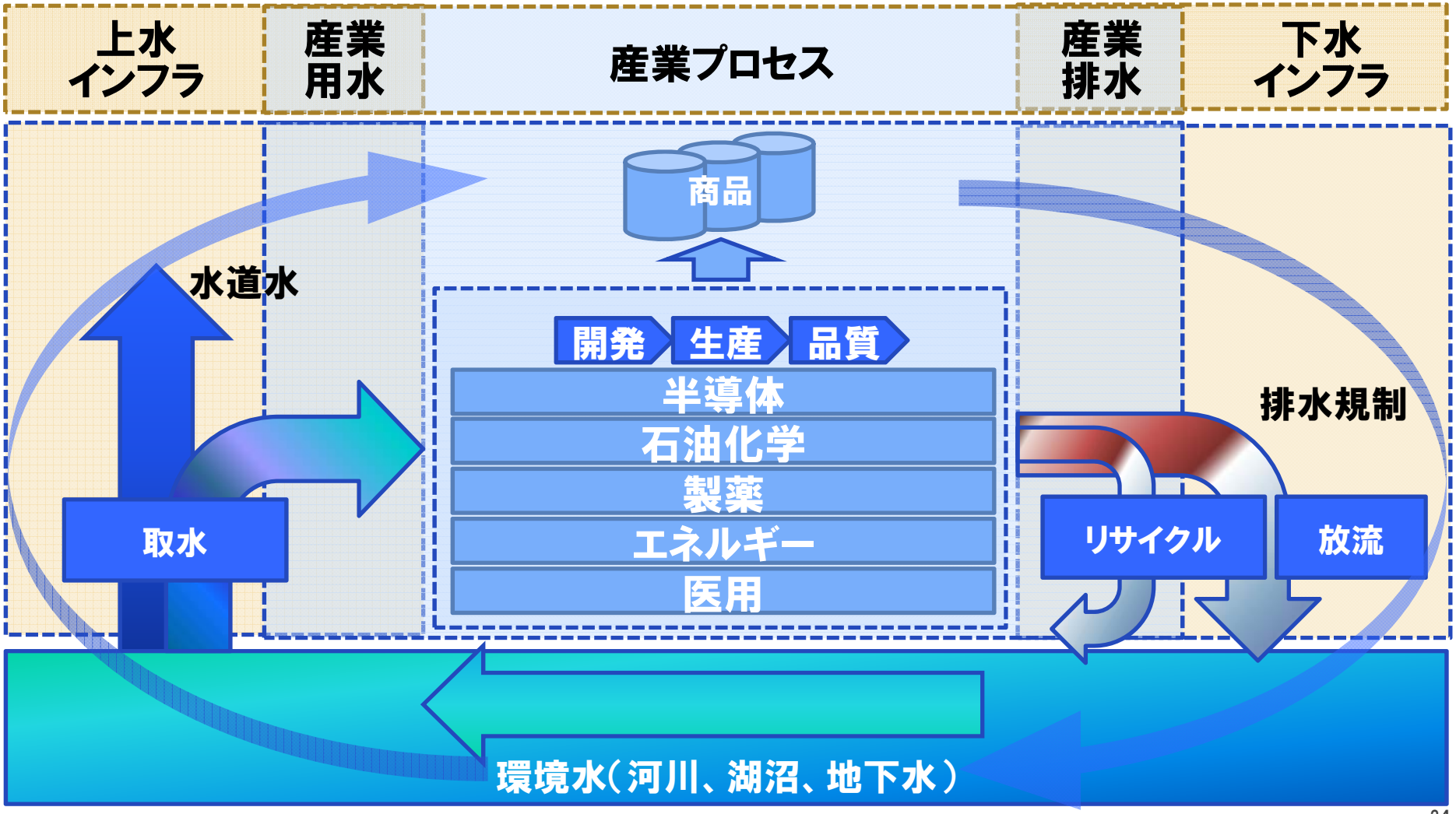


- 超純水から排水を幅広くカバー
- 市場要求への緻密な対応
- IoTを使った水計測ネットワーク創出

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

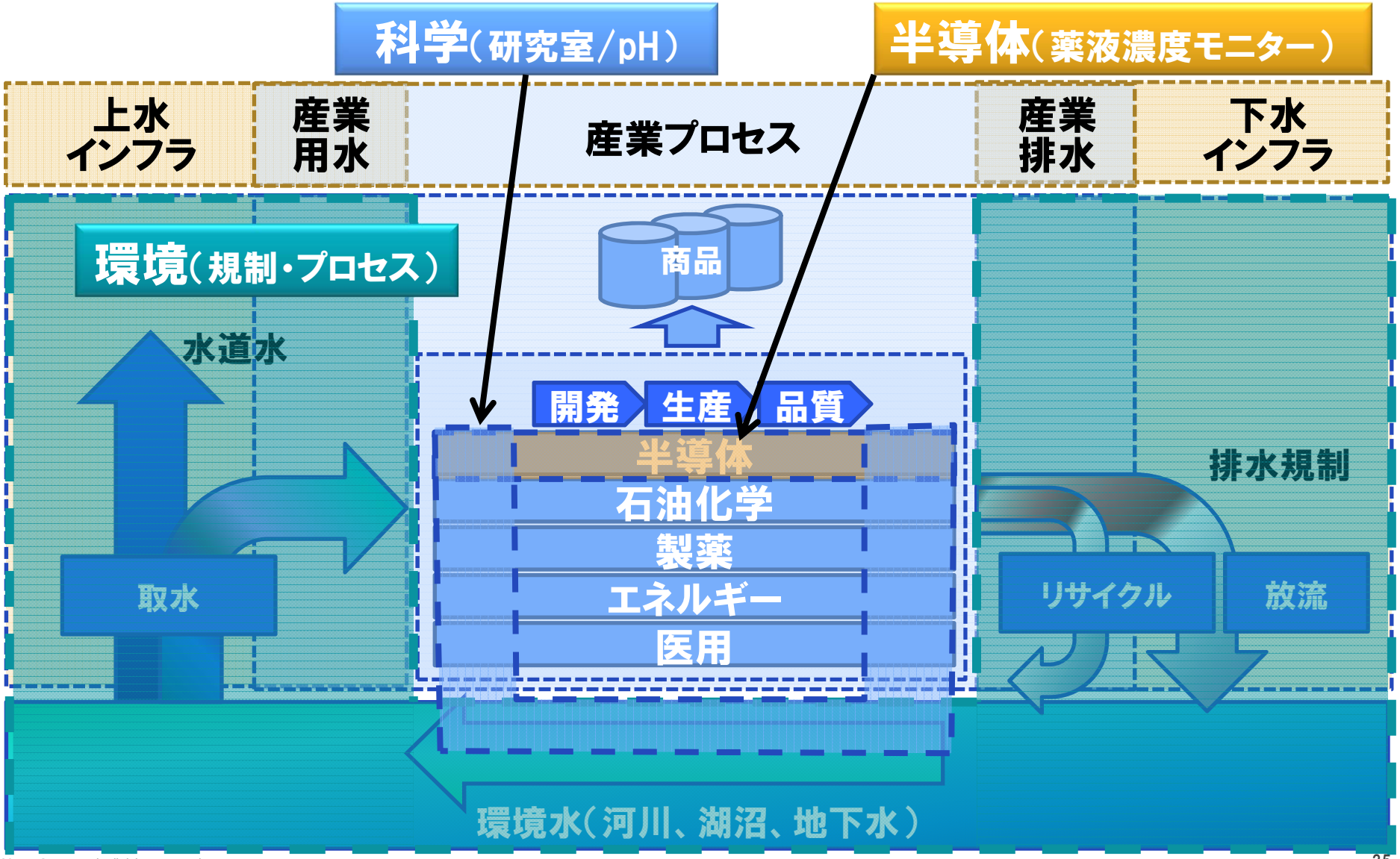
Water 「水」に関する分析・計測の事業ドメイン

「水」計測に関する関連事業領域 ～Life Cycle of Water～



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

Water 「水」に関する分析・計測の事業ドメイン



© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

新・ダイバーシティ経営企業100選（経済産業省）を受賞

齊藤副社長とステンドグラスプロジェクトリーダーの森口が授賞式に参加

評価ポイント：
「おもしろおかしくの企業文化とステンドグラスプロジェクト」

ステンドグラスプロジェクトの取組み

- ワークママランチ会（子育てしながら働くママたちの意見交流会）
- 介護をしながら働くための講演会
- 仕事の生産性を向上するためのワークショップなど

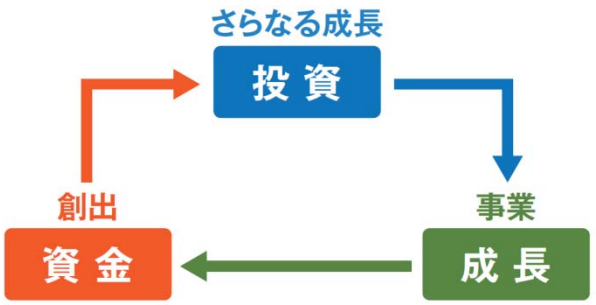
© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

資産効率の向上と企業価値の最大化

◆ 資産効率を測る独自の経営指標の導入を決定

- ■ 「営業利益」と「WACC」を組み込んだ指標
- ■ 導入単位：事業セグメント/グループ会社別
  - ➢ 事業資産の活用効率化徹底/収益回収モデルのPDCA強化
- ■ 2018年度の予算化を予定

資産効率の向上
&
事業成長の加速



◆ 英米に金融子会社を設立

- ■ グループファイナンスによる資金効率向上
- ■ 各地域における財務管理機能の強化

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

MLMAP2020 シンボルマーク

ONE STEP AHEAD ～新たなHORIBAを創造～

既存のビジネス領域から一歩踏み出し、拡大を追求する。
新たな視点で、技術・市場・組織の壁を越える。
自由自在な制御で既成概念を打ち破り、次のステージへ上昇する。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

Thank you

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

감사합니다

Cảm ơn

ありがとうございました

Dziękuję

धन्यवाद

Grazie

Merci

谢谢

நன்ற

ขอบคุณครับ

Obrigado

Σας ευχαριστούμε

شُكْرا

Tack ska ni ha

Большое спасибо

Danke

Gracias

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

ご清聴ありがとうございました。

© 2017 HORIBA, Ltd. All rights reserved.